

トップエスイーは本当に役に立つのか？

# 経験的改善から定量的改善へ

From software process improvement with ad hoc approach to quantitative approach

筆者はコンサルティング部門勤務  
顧客の現場での改善活動の経験です

イーソル株式会社 リサーチ&コンサルテーション・サービス部  
宇佐美 雅紀(3期生) m-usami@esol.co.jp

## 経験的な改善

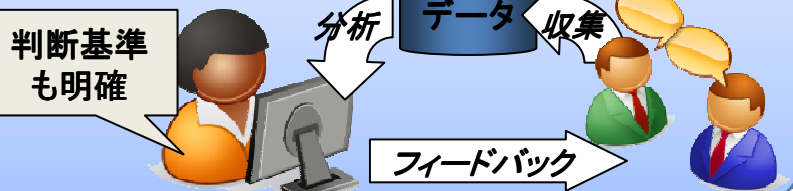
データは蓄積していても、目的や判断基準が曖昧、フィードバックプロセスが未定義の状態



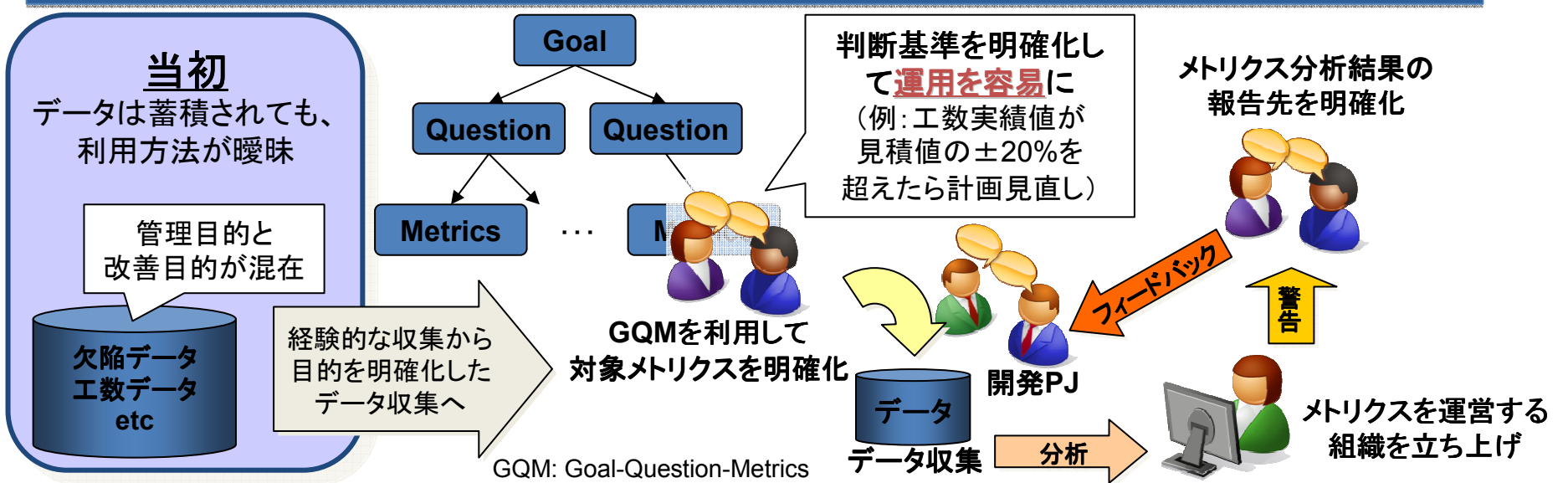
筆者が  
改善支援

## 定量的な改善

目的、判断基準、フィードバックのプロセスを明確化した改善に!!

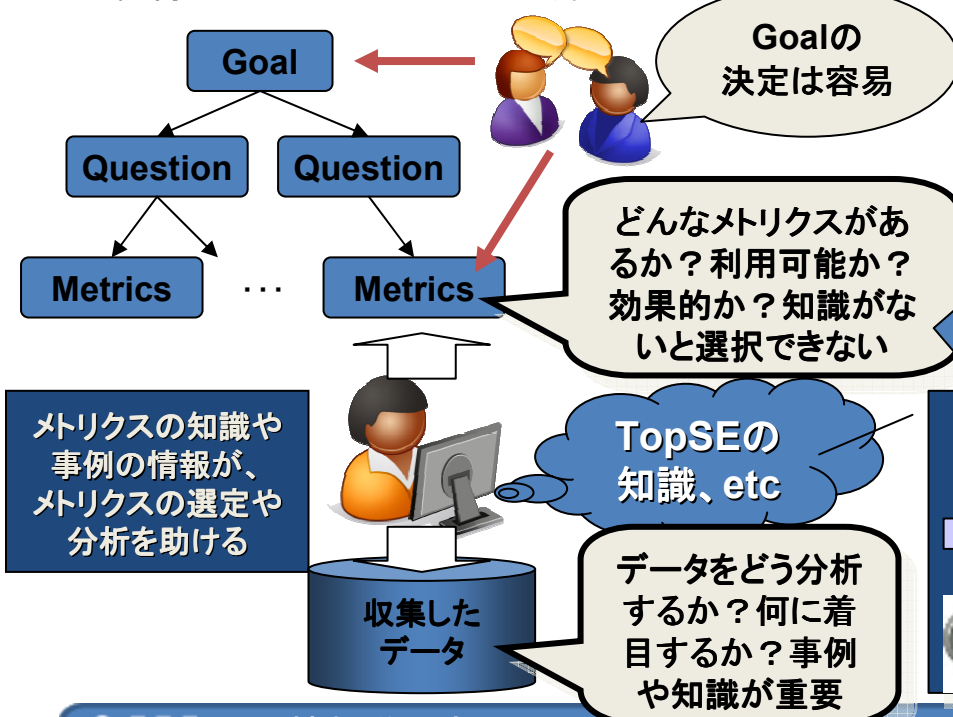


## データの収集目的・判断基準・フィードバック経路を明確化

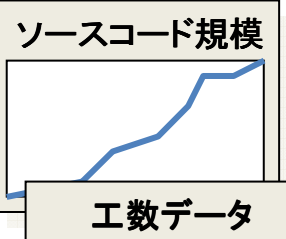
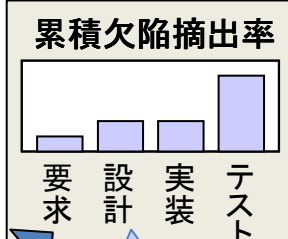
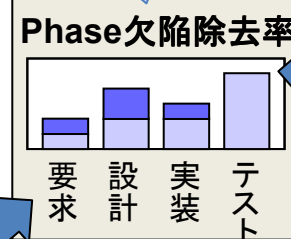


## TopSEの効果

実際にやってみるとGQMは難しい



現状の仕組みで  
実現できない



現状の仕組みで  
出来る  
手法を選択

ツール化・自動化は重要!!

TopSEではメトリクスに役立つツール(R, Weka)も教育しているが...

統計処理では実績のある便利なツールでメトリクスの計算・自動化に有効



一般には見慣れないツールで現場適用には至らず...

## おまけ

教育の視点から、Top SE講師陣の資料作り、説明の仕方は大いに参考になった

